

当選後初めての総括審査に臨みました。初議会での総括審査は大変ハードルが高く、プレッシャーも大きいものでしたが、地域の方々の声をしっかり形にして、届けてきました。



## 総括審査にのぞむ!!

### 飲食店の支援について

県や各自治体から様々な支援メニューがあり、評価の声もある一方、多くの店舗は大変厳しい状況にある。

### 「飲食店認証制度」に関して

費用面や設備の問題で認証を受けることができないお店もある。経営基盤が小さいところなど、現場は本当に切実で、“目の前の支援”も必要なのではないか。鳥取県の取り組みとして「第四波対策飲食店等感染防止強化緊急応援事業」というものがあり、これは認証を目指すお店に対し、認証取得応援金20万円と認証取得補助金(補助率9/10)上限20万円を支給するという“目の前の支援”と“認証取組の推進”をセットで実施する事業である。今後認証制度を全県的に盛り上げていくために現在“目の前”が苦しい事業者さんへのプラスアルファの支援策を示すことで盛り上がりにつながっていくと思うが。

他：DXの推進(県庁内のデジタル化)について

総括審査  
発言内容  
動画はこちら▶



### 建設委員会 委員会審査

- ◎県発注工事での工事手続きの透明性、公平性についてのコンプライアンスの徹底及び仕組化等への提案
- ◎職員の仕事の効率化のための仕事のデジタル化への提案など



瓜生のぞむ 県政レポート 2021 NOZOMU Report

# NOZOMU Report

発行/秋田県議会議員 瓜生 望  
夏号 vol.1  
瓜生のぞむ | 県政レポート | 2021



## 瓜生のぞむ

皆様からご支援いただき県議会の場へと挑戦をしています。日々勉強の毎日を過ごしていますが、一步一步成長を続けて参ります。

ここ数カ月の県政活動を、このNOZOMU Reportで報告させていただきます!!

- ・所属委員会 建設委員会
- ・広報編集委員会

## まず動き、聞いています。

### 水路の水害原因調査



### 地域交通の安全確保にむけて



あなたの声を聴かせてください。

事務所 Tel.018-878-5961  
〒010-0201 潟上市天王字上江川47-1276  
E-mail s4ign@uryu-nozomu.com

瓜生のぞむの  
オフィシャルHPはこちら  
<https://uryu-nozomu.com/>

瓜生のぞむ

検索



# 豊かな八郎湖が持つ可能性

## 現在まで

昭和52年に干拓工事の全てが終了し、それから43年もの月日が流れました。

工事終了の翌年、昭和53年からは「アオコ」が継続的に発生しています。私がこの世に生まれたのが昭和53年8月ですので、この街の方たちは私の人生と同じ時間、この「アオコ」の問題を抱えてきていることとなります。この間、湖内の水質は悪化の一途をたどり、平成13年には全国の湖沼水質ワースト5位。平成18年にはワースト3位となってしまう、平成19年には国の「湖沼水質保全特別措置法」における指定湖沼に指定されています。



馬踏川に設置されたアオコ抑制装置

水質の悪化が進んでいる現在の八郎湖ですが、秋田県では、この状況を少しでも良くしようと、平成18年に「八郎湖環境対策室」を設置し、平成20年には「湖沼水質保全計画（第1期）」を策定し（現在3期計画期間中）水質の改善に努めているところです。

平成12年からのデータですがアオコ発生源対策、湖水浄化対策、応急対策として今までの総額で約7億8千万円もの費用を投入し、これらの対策事業を継続的にこなっ

てきています。ですが、なかなか思うような成果が上がっていない現状であり、今後この水質改善に向けてどう挑戦していくか、どう一歩前に進めていくのかをみんなで考え、行動していかなければいけないと思っています。

## まず動く!!

### 議会外での、いろいろな活動。

天王グリーンランドなどにストリートピアノ設置



誰もが触れられる音楽があふれる街へ。

東湖小健康寿命延伸プログラム支援



生活習慣は小さい時から作られる。

青年局 街頭運動



街頭から、自分の考えをお伝えさせていただきました。

地域スポーツの振興



大好きなバスケットを通じ、子どもたちとともに成長させていきたいです。

潟上ロータリークラブにて講演



八郎湖の未来について自分の想いを述べさせていただきました。

地域サロン活動を視察



同じ時間を共有することでみなさんの想いを知ることができます。

## これから



水質改善と産業の復活を考える。以前の八郎潟(干拓前の呼称)は全国でも2番目の広さを誇り、海水と真水が混ざり合う「汽水湖」だったため、たくさんの種類の魚などが多く採れる豊かな漁場だったと先輩たちに教えていただきました。汽水から真水に変わってしまったことで起こった生態系の変化や水質の悪化、漁業者の高齢化などが原因で年々減っている漁業の許可件数と漁獲高数。中でも汽水でしか繁殖できない「ヤマトシジミ」は今やほぼ採れなくなってしまっています。しかし、このシジミの漁獲(下表参照)を見ると、1990年ごろに漁獲高が突然上がっているのが分かると思うのですが、なんとこの年は1万トンものシジミが採れました。現在のヤマトシジミの漁獲高日本一が島根県の宍道湖の約4千トンであることからしても、その数年間、いかに八郎湖のシジミが多く採れたのかが分かります。シジミが急激に採れた要因は、台風による海水の流入がポイントで、このことにより、湖内が汽水化されました。シジミの繁殖時は若干の塩水が必要と言われており、塩水の流入とシジミの繁殖期のタイミングがバッチリだったことが大きく影響しています。

さらに、シジミはアオコなどを餌として体内に取り込み、綺麗な水を吐き出します。継続的にシジミが採れる湖になることで、水質改善の可能性と失われた産業の復活ができるのではないかと。

この過去のデータに、私は八郎湖再生の可能性を見てしまうのです。

### 八郎湖のデータ

#### ●八郎湖許可漁業件数



#### ●漁獲高の推移



#### ●八郎湖しじみ収穫量

| 1957 (S32) | 1988 (S63) | 1989 (H元) | 1990 (H2)        | 1995 (H7) | 2020 (R2)   |
|------------|------------|-----------|------------------|-----------|-------------|
| 1,759 トン   | 47 トン      | 1,755 トン  | <b>10,750 トン</b> | 58 トン     | <b>0 トン</b> |